



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/gontazaka/>

令和元年9月30日
横浜市立権太坂小学校
10月号



変化のとき

学校長 野口 みか子

はじめに、台風15号の被害に遭われたすべての方々にお見舞い申し上げます。

1日も早く通常の生活に戻れますよう、お祈り申し上げます。

9月の台風被害は、本校でも様々とありました。敷地内の大切にしていた桜の木の太い枝が折れたり、雨の吹込みがあったりと…。しかし、大禍に至らず助かりました。当日の朝、まちの方が道に立ち、子どもたちに休校を伝え、子どもの安全を見守ってくださったとも聞きました。本当にありがとうございます。皆様のご協力のおかげで、子どもたちは家で過ごし、台風の被害に遭うことはありませんでした。

5月の連休明けから30度を超える暑さが始まり、7月は、気温が上がらず、水泳学習ができない日々もありました。しかし、梅雨明けからは、猛暑続き。厳しい暑さが続く夏休みでした。そして、8月末から9月いっぱい、日向では30度を超える日が続いています。学習中の湿度・温度には注意を払い、安全に子どもたちが学習を楽しめるようにしてきました。朝夕が涼しくなってきたことに、少し安堵はしておりますが、引き続き、気象に十分な注意が必要であると考えています。

まだまだ、台風が襲来する可能性がありますので、ご家庭でも、引き続き天気予報をテレビ、インターネット（ご家庭のパソコンや携帯電話での閲覧）、ラジオ、横浜気象台の情報などで確認していただきたいと思います。そして、保護者の方が慎重に判断していただき、子どもたちが安全に登校できる状況かどうか、ご確認いただきますよう、よろしく願いいたします。

来年度から国の示す教育課程（教育計画）が大きく変わり実施されます。年度当初の学校説明会でもお知らせしましたように、本校でも、学校行事を含めた学校の教育活動をすべて見直し、実施計画を立て直しているところです。特に、宿泊体験学習や校外学習も本校児童の実態に合わせ、育てたい力を明らかにして、実施できるよう一から見直しているところです。なぜそこに行くのか、なぜ2泊3日なのか。誰もが安心してそこに行き、自分の力のすべてを発揮して取り組み、よさを伸ばす活動に結びつけるには、何をすべきなのか。など、「何のためにするのか」目的をはっきりさせて、子どもの力を伸ばしていける計画づくりを全教職員で行っています。

新しい教育課程は、これから先の10年間の教育計画です。過去の新しい教育課程編成と比較しても、今回の編成は非常に大きな改革と言われています。本校でのこれまでの積み上げを大切にしながら、大きく変わる社会状況の中で自分らしく伸びやかに成長し続ける子どもたちの姿を求め続けていけるように計画したいと考えています。

今月号から毎月、現在の本校の教育課程編成の取り組み状況を「新教育課程編成の取り組みについて」でお伝えしてまいりますので、どうぞお読みください。「千里の道も一歩から」の精神で着実に進めてまいりたいと思います。

先日、5年生と校外学習に行った時のことです。縦横無尽に人が行き交い、混雑している横浜駅構内を100名近くの児童が列をなして歩きました。一人の女性が私たちの列を遮るように進もうとしていると、ある子どもがピタッと止まり、「どうぞ。」と言葉を添えて手を広げて女性の行く先を指し示しました。女性は一礼をして、子どもの前を通り過ぎました。思わず私は「偉いね。」と言葉をかけました。すると、少し頭を掻き、照れくさそうにしていました。私たち指導者の嬉しい瞬間です。どこの誰とも知らない方に、礼儀とやさしさをもって接することができる、本校の子どもたちの姿です。何気ない日常にこそ、教えの成果は現れます。教育とはそう簡単なことではありません。しかし、ご家庭や地域、学校が力を合わせて子どもの力を育てた時の喜びは格別です。新しいことだけでなく、変えてはならぬことにも目を向けて、しっかり教育活動を行っていきたいと思います。後期もご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

千里の道も一歩から 8月22日～9月21日までの平日（学校で授業のある日）22日間に歩いた歩数は、233,560歩でした。暑かった時より、少し歩数が伸びました。引き続き、頑張りたいと思います。

お詫び：先月号の「千里の道も一歩から」の文章の中で、千里の道も百歩からと表記してあるところがありました。正しくは、一歩からです。訂正してお詫びします。